

# 啓発ポスターの効果で相談件数増加

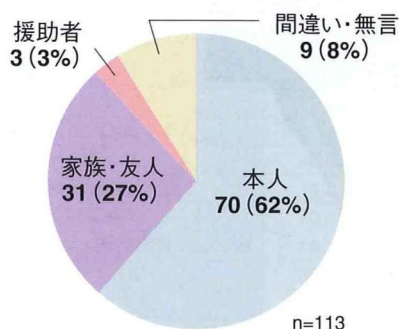
## 1. 相談件数



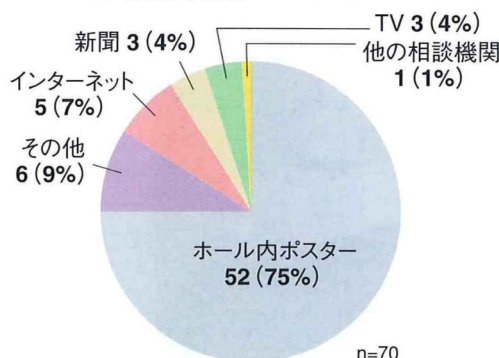
## 2. 都道府県別相談件数

沖縄県	12
神奈川県	10
静岡県	9
大阪府	8
兵庫県	6
福岡県	6
千葉県	5
北海道	4
広島県	4
埼玉県	3

## 3. 対象者との関係



## 4. 相談経路 (本人のみ)



ぱちんこ依存問題相談機関であるリカバリーサポート・ネットワーク(RSN)への電話相談件数が7月は113件で前月より23件増えた。月間電話相談件数は4月以降ほぼ100件ペースが続いていて、1日にかかってくる電話相談件数の平均は5・1件。

今年に入り、全日遊連による組合店舗内での啓発ポスター掲示の呼びかけの強化によりポスターを掲示する店舗が増えたことが、相談件数の増加につながったと同機関は推測している。

ホール内に掲示されたRSNの啓発ポスターがきっかけとなり電話相談をした件数は、113件中54件だった。インターネット経由での電話相談が14件と2番目に多くなっている。これは相談機関を検索するといった明らかに「自発的」に行動した人が多くいることを指している。また中には、精神科の主治医や警察署、精神保健福祉センターや保険所などからの紹介で相談電話をかける人もいるという。

都道府県別に相談件数を見ると、沖縄県が最も多く12件だった。6月に沖縄で「援助者・サポーター育成講座」を行ったことや、その模様が新聞に掲載されたことなどが理由として挙げられる。以下、神奈川県(10件)、静岡県(9件)、大阪府(8件)と続く。

7月の電話相談のうち、問題を持つ本人からの相談は全体の62%(70人)だった。5月は58%、6月が56%だった。7月の本人比率が増加したのもまた、ホール内でのポスター掲示板が増えたためであろう。対象者性別は、男性が62%(70人)。女性は5月、6月と20%前後を推移していたが7月は28%(32人)に増加した。

ぱちんこ依存問題相談機関  
リカバリーサポート・ネットワーク  
相談専用回線(IP電話)  
TEL. 050-354116420  
月曜日～金曜日(祝日は除く)  
10時～16時